

関係各研究機関の長 殿

東京大学地震研究所

所長 小原 一成

2019年度共同利用地震火山災害軽減研究の公募について(通知)

このことについて、下記のとおり公募いたしますので、貴機関の研究者にこの旨周知くださいますよう、お願いいたします。

記

1. 公 募 事 項(公募要領を参照)

地震火山災害軽減研究

(1)特定共同研究(A)(A-01)

(2)地震・火山噴火の解明と予測に関する公募研究

2. 応 募 資 格: 申請、及び研究組織へ参加できるのは、国・公立大学法人、私立大学及び国・公立研究機関の教員・研究者又はこれに準じる者(名誉教授・大学院学生・財団等民間団体や企業の研究者)とします。学生の扱いについては「12.注意事項(5)」を参照してください。

※若手研究者の積極的な応募を歓迎いたします。

3. 申 請 方 法: 共同利用 HP (<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/kyodoriyou/>) にある所定の様式に必要事項を記入のうえ、Web 申請システムを使用し、申請してください。

Web 申請システム: <https://erikyodo.conf.it.atlas.jp/ja>

操作方法は下記、共同利用 Q&A 「よくある質問と回答」よりご参照ください。

共同利用 Q&A: <http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/kyodoriyou/qa/>

なお、特定共同研究(A)(A-01)については参加を希望する個々の研究者が、地震・火山噴火の解明と予測に関する公募研究については研究代表者が、それぞれ申請してください。特定共同研究(A)(A-01)への参加の申請は、研究代表者と事前打ち合わせ済みの場合でも、Web 申請システムにて、ID、パスワードを取得いただき、参加申請書をご提出ください。過去にご登録済みの場合は、改めて ID を取得いただく必要はありません。

4. 研 究 期 間: 2019年採択日から2020年3月まで

5. 審査の方針: 本研究所の共同利用委員会では、提出された申請書を審査し、採否を決定します。研究計画の内容が各種共同利用の趣旨に沿っていることが重要です。また、本研究所との研究活動の関連性、施設・装置・データとの関連性も審査の対象となります。各種の専門分野の研究者

からなる委員全員で審査しますので、その点を意識した申請書の作成をお願いします。

なお、特定共同研究(A)(A-01)に関しては、今回提出いただく参加申請書を本研究所が取りまとめ、研究代表者に送ります。それを受けて研究代表者により取りまとめられた「計画調書」(3月中旬頃締め切り予定)が審査対象となります。

6. 申請期限: 2019年2月28日(木)【厳守】

7. 郵送提出書類: 以下(1)(2)すべての書類について、郵送により原本を提出してください。提出時期は、申請後2週間以内となります。提出先は、本研究所の研究支援チーム(共同利用担当)宛で、住所は、本通知の末尾に記載してあります。

(1)所属機関長等の承諾書(様式C-2a):

対象は、特定共同研究(A)(A-01)及び地震・火山噴火の解明と予測に関する公募研究の研究代表者と研究組織に記載の研究者等全員です。また、複数課題に申請する場合は研究課題毎に提出が必要です。

異動等があった場合は、変更届と新しい所属機関長の承諾書を速やかに再提出してください。

なお、全ての種別において、地震研究所に所属している方は提出は不要です。

(2)研究倫理に関する誓約書(様式C-2b):

「私、」以降の欄に必ず、氏名を自著していただき、原本を郵送してください。

また、東京大学に所属している方及び今までにご提出いただいた方は、提出は不要です。

8. 採否の決定: 共同利用の採否は、本研究所の共同利用委員会が決定します。採否の決定は、平成31年6月下旬までに行われ、審査結果を研究代表者(及び所内担当教員)あてに通知します。

9. 所要経費: 共同利用に必要な経費(消耗品・役務・謝金等)及び旅費は、予算の範囲内において地震研究所が支出します。備品には原則支出できません。なお、消耗品と備品の定義・事例は「12. 注意事項の(6)」を参照してください。

10. 謝辞等の記載: 本研究所の共同利用で行われた研究に関する論文等を発表する場合は、謝辞に東京大学地震研究所共同利用により援助を受けた旨を記載することが義務となります。また、その別刷やデータ(PDF、配布元URL情報でも可)などを、本研究所の研究支援チーム(共同利用担当)へ必ず提出してください。

11. 宿泊施設: 本研究所には宿泊施設がありませんので、各自で用意してください。

12. 注意事項: (1) 施設等の利用にあたっては、本研究所の規程、その他関係法令を遵守するとともに、管理・安全のために発する所長の指示に従っていただきます。

(2) 予算の執行、研究の実施、設備などの利用については、所内担当教員と十分に連絡を

取り、かつ、本研究所の関係する教員の指示に従ってください。

- (3) 本学以外の共同利用者が研究を遂行する際に生じた損失、損害に関しては、原則として各所属機関で対応するものとし、本学は一切の責任を負いません。また学生が共同研究に参画される場合は、(財)日本国際教育支援協会の損害保険「学生教育研究災害障害保険(学研災)」等に加入してください。万が一、機器や付属品等を破損もしくは紛失した際は、使用責任者の責任で、修理もしくは補充を行ってください。機器返送後、不具合が見られたときは、修理代金等を請求する場合があります。
- (4) 本共同利用によって知的財産を創出した場合は、出願等を行う前に所内担当教員、及び研究組織に記載された全研究者へご連絡ください。併せて、所属機関の知財担当部署への連絡もお願いいたします。権利の持ち分、出願手続き等については協議の上、決定いたします。
- (5) 大学院学生が参加する際には、指導教員の許諾及び承諾書の提出が必要です。また、学部学生が研究者として参加することは原則として認めません。ただし、研究代表者の申請により、学部学生も「研究補助者」として、研究組織に記載された研究者への、研究支援・補助業務を行えるものとします。学部学生を「研究補助者」として研究組織へ追加したい場合には、当該者の承諾書(誓約書は不要)を用意し、下記の研究支援チーム(共同利用担当)へご連絡ください。
- (6) 耐用年数が1年以上かつ1個または1組の取得価額(税込)が10万円以上の物品は備品となります。ただし、高額であっても、電池・試薬・ソフトウェアなどは消耗品として扱います。判断に困る場合はお問い合わせください。
- (7) この他、公募に関するお問い合わせは、下記の研究支援チーム(共同利用担当)へお願いします。

【各種提出先、問い合わせ先】

〒113-0032 東京都文京区弥生 1-1-1

東京大学地震研究所 研究支援チーム(共同利用担当)

電話: 03-5841-1769, 5710

FAX: 03-5689-4467

E-mail: k-kyodoriyo@eri.u-tokyo.ac.jp

公 募 要 領

地震研究所においては、全国の地震・火山の関連分野の研究遂行に資するため、各種共同利用・共同研究の制度が設けられており、これらの募集を1年毎に行っております。今回は、下記の2種類の共同研究の募集を致します。

以下の記載事項をご参照のうえ、期日までに共同利用 Web 申請システムにて申請してください。

Web 申請システム：<https://erikyodo.conf.it.atlas.jp/ja>

操作方法は下記、共同利用 Q&A 「よくある質問と回答」よりご参照ください。

共同利用 Q&A：<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/kyodoriyou/qa/>

本公募要領をはじめ、各種様式は共同利用 HP <http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/kyodoriyou/>に掲載しております。

なお、共同利用・共同研究に申請される場合は、事前に本研究所の関連する教員と打ち合わせを行った上で申請してください。

1. 地震火山災害軽減研究

(1) 特定共同研究(A) (A-01):

地震研究所及び関係機関が全国規模で実施する、「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第2次）の推進について」(建議) (以下、「地震火山災害軽減研究（第2次）」)に基づいて計画的に推進する各共同研究プロジェクト(別表 T-2A-2)へ参加するための旅費を補助します。

対象は、「地震火山災害軽減研究（第2次）」の事業費の配分を受けていない研究機関に所属する研究者とします。

関心をお持ちの方は、各課題の研究代表者にプロジェクト内容等の詳細をお問い合わせください。参加を希望する方は、参加申請書(様式 T-3A)を提出してください。

建議の詳細については以下の URL をご覧ください。

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu6/toushin/1413118.htm

(2) 地震・火山噴火の解明と予測に関する公募研究:

「地震火山災害軽減研究（第2次）」のうち、「III. 計画の実施内容」に記載されている項目「1. 地震・火山現象の解明のための研究」、「2. 地震・火山噴火の予測のための研究」、もしくは「4. 地震・火山噴火に対する防災リテラシー向上のための研究」の内容またはそれらのための技術開発、データベース開発等に関する研究で、別表 T-2A-2 に無い、新たな研究課題を公募するものです。

研究期間は1年ですが、次年度以降においては年度ごとに申請し、採択を受けた上で最長3年まで継続が可能です。1課題当たりの研究費の上限を1年につき100万円とします。なお、費目は旅費、共同研究費（消耗品・役務・謝金等）とします。申請書に「地震火山災害軽減研究（第2次）のどの研究項目に対応するか記載してください(例:1.(5)ア. プレート境界地震と海洋プレート内部の地震)。

項目「3. 地震・火山噴火の災害誘因予測のための研究」の内容に関する公募研究は、本研究所と

京都大学防災研究所が共同で実施する「拠点間連携公募研究」として別に行う予定です。

建議の詳細については以下のURLをご覧ください。

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu6/toushin/1413118.htm

別表T-2A-2

災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第2次） 研究課題・研究代表者一覧

2019年1月7日現在

課題番号	代表機関名	課題代表者	研究課題名
1. 地震・火山現象の解明のための研究			
(1) 地震・火山現象に関する史料・考古データ、地質データ等の収集と解析			
ERI19	東京大学地震研究所	加納靖之	歴史地震史料を活用した地震学的解析
IRIDES02	東北大学災害科学国際研究所	蝦名裕一	東北地方における地震・津波・火山情報に関する歴史資料の所在調査とデータ収集
NGT01	新潟大学	中村元	日本海沿岸地域を中心とした地震・火山現象の解明のための史料収集と解析
NGY01	名古屋大学	山中佳子	古文書解読による南海トラフ巨大歴史地震像の解明 ～歴史地震情報の可視化システムの構築とその活用～
UTH01	東京大学史料編纂所	榎原雅治	地震火山関連史料の収集・分析とデータベースの構築・公開
NAB01	奈良文化財研究所埋蔵文化財センター	村田泰輔	考古・文献資料からみた歴史災害情報の収集とデータベース構築・公開ならびにその地質考古学的解析
HKD03	北海道大学	西村裕一	津波堆積物情報の高度化と実践的活用に関する研究
IRIDES03	東北大学災害科学国際研究所	後藤和久	沿岸巨礫を用いた古津波評価法の検討：南海トラフ～琉球海溝の連動可能性評価に向けて
ERI05	東京大学地震研究所	安田敦	マグマ溜まりの時間発展と噴火様式との関連性
TYM02	富山大学	石崎泰男	極小規模噴火を含めた草津白根火山の噴火履歴の解明と噴火ポテンシャル評価
(2) 低頻度大規模地震・火山噴火現象の解明			
HMEV01	東京大学地震火山史料連携研究機構	佐竹健治	地震火山関連史資料に基づく低頻度大規模地震火山災害の調査
UTS03	東京大学理学系研究科	田中愛幸	巨大地震に伴う粘弾性余効変動の解明
ERI22	東京大学地震研究所	前野深	大規模噴火に伴う諸現象とそれを駆動するマグマ溜りー火道システムの解明
HKD08	北海道大学	栗谷豪	大規模噴火に関わるマグマプロセスの時間スケールの解明
(3) 地震発生過程の解明とモデル化			
ERI06	東京大学地震研究所	篠原雅尚	千島海溝・日本海溝における複合海底地震観測地観測によるプレート境界の挙動解明とそのモデル化
ERI03	東京大学地震研究所	波多野恭弘	非線形動力学・計算材料科学との学際連携に基づく地震現象の多様性の統一的な理解
THK01	東北大学	岡田知己	国際共同研究によるニュージーランドにおける地震発生機構の解明
UTS02	東京大学理学系研究科	井出哲	地震発生場のテクトニクスとマルチスケール地震現象の予測可能性
ERI17	東京大学地震研究所	中谷正生	より現実的な断層面ダイナミクス
RTM01	立命館大学	小笠原宏	南アフリカ大深度金鉱山からの地震発生場における応力と物質の直接調査
THK02	東北大学	松澤 暢	流体の寄与に注目した地震断層すべり物理モデルの高度化
(4) 火山現象の解明とモデル化			
ERI21	東京大学地震研究所	大湊隆雄	多項目観測データの比較研究に基づく噴火過程の理解とモデル構築

課題番号	代表機関名	課題代表者	研究課題名
THK03	東北大学	西村太志	噴火発生時刻の即時把握と噴火ダイナミクスの研究
TIT02	東京工業大学	野上健治	海域火山活動に伴う熱水活動の実験的研究と観測研究
TIT03	東京工業大学	野上健治	小型拡散放出二酸化炭素率測定装置の開発
TYM03	富山大学	堀田耕平	富山県弥陀ヶ原火山における地球物理学的観測による火山活動モニタリング
HKD09	北海道大学	吉村俊平	マグマ脱ガス実験と火山噴出物の揮発性成分解析に基づく噴火分岐メカニズムの解明
THK04	東北大学	中村美千彦	浅部貫入マグマの結晶化速度と噴火挙動の推定手法の開発
(5) 地震発生及び火山活動を支配する場の解明とモデル化			
ERI01	東京大学地震研究所	望月公廣	日本・NZ国際協力によるヒクランギ沈み込み帯における多様な地震活動と、その発生環境との関係の解明
THK06	東北大学	東龍介	スラブ内地震の発生メカニズムに関する研究
KGS01	鹿児島大学	八木原 寛	南西諸島北部域におけるプレート間すべりの特性に関する地震・地殻変動観測研究
TKK01	東京大学大気海洋研究所	朴進午	巨大津波を引き起こす震源断層の実態解明と流体変動モニタリング
DPRI01	京都大学防災研究所	伊藤喜宏	津波生成過程の理解に向けた浅部スロー地震の活動様式・発生場の解明とモデル化
DPRI02	京都大学防災研究所	澁谷拓郎	南海トラフ巨大地震の予測高度化を目指したフィリピン海スラブ周辺域での総合的観測研究
THK05	東北大学	趙 大鵬	世界各地の大地震発生域との比較研究に基づく地震・火山現象の理解
IRIDES07	東北大学災害科学国際研究所	木戸元之	GPS-A観測による効率的な上下変動検出技術の開発と根室沖観測への適用
HRS02	弘前大学理工学研究科	小菅正裕	東北日本弧・千島弧会合部とその周辺における地震発生場の解明
DPRI03	京都大学防災研究所	飯尾能久	内陸地震の発生機構と発生場の解明とモデル化
ERI07	東京大学地震研究所	飯高隆	内陸地震発生ポテンシャルの予測を目指した島弧の地殻応答と断層における地殻内流体の影響の解明
THK09	東北大学	岡田知己	地殻応答による断層への応力荷重過程と断層間相互作用の解明と予測
ERI13	東京大学地震研究所	今西祐一	東日本における長期的重力変化の観測とモデリング
UTS04	東京大学理学系研究科	角森史昭	地殻流体の化学的観測による地震火山活動評価システムの高度化と応用
KOB01	神戸大学海洋底探査センター	島 伸和	鬼界海底カルデラにおけるマグマ供給系の構造・進化の解明
TIT01	東京工業大学	寺田暁彦	水蒸気噴火の準備過程を捉えるための火山熱水系構造モデルの精緻化
TKK02	東京大学大気海洋研究所	佐野有司	地球物理・化学的探査による海底火山および海底熱水活動の調査
THK10	東北大学	山本 希	集中地震観測による火山体構造・火山現象発生場の解明
QDAI01	九州大学	相澤広記	地震火山相互作用下の内陸地震空間ポテンシャル評価
DPRI04	京都大学防災研究所	深畑幸俊	日本列島の地震-火山噴火の基本場解明：地殻とマントルにおける応力、流体-マグマ、温度・流動-変形場

課題番号	代表機関名	課題代表者	研究課題名
2. 地震・火山噴火の予測のための研究			
(1) 地震発生の新たな長期予測			
NGY02	名古屋大学	田所敬一	南西諸島海溝におけるプレート間固着状態の解明
HMEV02	東京大学地震火山史料連携研究機構	西山昭仁	地震関連史料に基づく近代以前の地震活動の調査
ERI08	東京大学地震研究所	篠原雅尚	地震発生予測のための島弧-海溝システムの観測-モデリング統合研究
UTS01	東京大学理学系研究科	安藤亮輔	物理モデルと地形・地質学およびテクニクな観測データを統合した地震発生の長期予測手法の開発と検証
DPRI05	京都大学防災研究所	西村卓也	測地観測データに基づく内陸地震長期評価手法の開発
NGY03	名古屋大学	鈴木康弘	変動地形学的手法による内陸地震発生モデルと活断層長期評価手法の再検討
(2) 地殻活動モニタリングに基づく地震発生予測			
ERI12	東京大学地震研究所	蔵下英司	スロー地震モニタリングに基づく南海トラフ域の地震発生可能性評価手法に関する研究
KUS01	京都大学理学研究科	宮崎真一	地殻活動データの同化による沈み込みプレート境界面すべり予測に関する研究
THK11	東北大学	内田直希	繰り返し地震再来特性の理解に基づく地殻活動モニタリング
NGY04	名古屋大学	田所敬一	南海トラフ域におけるプレート間固着・滑りの時空間変化の把握
(3) 先行現象に基づく地震発生の確率予測			
THK12	東北大学	長濱裕幸	地殻変動に伴う大気中ラドン濃度変動
CBA01	千葉大学	服部克巳	電磁気学的な地震先行現象の総合的研究
ERI18	東京大学地震研究所	中谷正生	経験的アプローチによる大地震の確率予測のパフォーマンス調査
RTM02	立命館大学	川方裕則	地震に先行する極微小な前震活動の異常度評価と発生環境の評価
(4) 中長期的な火山活動の評価			
UTS05	東京大学理学系研究科	森 俊哉	遠隔地火山、特に離島火山における火山ガスモニタリングの高度化
KUS02	京都大学理学研究科	大倉敬宏	地震・地殻変動モニタリングによる中期的な火山活動の評価
HKD06	北海道大学	橋本武志	電磁気・熱・ガス観測に基づく火山活動推移モデルの構築
(5) 火山活動推移モデルの構築による火山噴火予測			
DPRI06	京都大学防災研究所	井口正人	インドネシアの活動的火山における火山活動推移モデルの構築
DPRI07	京都大学防災研究所	中道治久	桜島火山における火山活動推移モデルの構築による火山噴火予測のための総合的観測研究
THK13	東北大学	西村太志	多項目観測データに基づく火山活動のモデル化と活動分岐判断指標の作成
3. 地震・火山噴火の災害誘因予測のための研究			
(1) 地震・火山噴火の災害誘因の事前評価手法の高度化			
DPRI08	京都大学防災研究所	関口春子	広帯域強震動予測の高度化に関する研究

課題番号	代表機関名	課題代表者	研究課題名
DPRI09	京都大学防災研究所	岩田知孝	断層破壊過程と極大強震動生成に関する研究
ERI04	東京大学地震研究所	古村孝志	大規模数値シミュレーションに基づく広帯域強震動災害の事前・即時予測
ERI11	東京大学地震研究所	酒井慎一	首都圏の地震被害分布と地震像の解明
NGY05	名古屋大学	鈴木康弘	地表地震断層の特性を重視した断層近傍の強震動ハザード評価
ERI09	東京大学地震研究所	三宅弘恵	堆積平野・堆積盆地における地震災害発生機構の解明
TTR01	鳥取大学	香川敬生	地方自治体の地震被害想定，災害リスク評価を高度化するための基盤整備
DPRI10-ERI	京都大学防災研究所	松島信一（拠点間）	南海トラフ地震などによる災害リスク予測の不確実性評価とその要因評価に関する研究
	東京大学地震研究所	望月公廣，飯高隆（拠点間）	南海トラフ地震などによる災害リスク予測の不確実性評価とその要因評価に関する研究
DPRI11	京都大学防災研究所	釜井俊孝	火山地域を含む地震地すべり発生場の評価と斜面における強震動及び不安定化の事前予測手法の展開
IRIDES04	東北大学災害科学国際研究所	佐藤源之	地表設置型合成開口レーダ（GB-SAR）による地表面変位計測の高精度化
DPRI12	京都大学防災研究所	為栗健	火砕流の発生と流下予測

(2) 地震・火山噴火の災害誘因の即時予測手法の高度化

HKD02	北海道大学	谷岡勇市郎	巨大地震に伴う海底斜面崩壊による津波の事前評価・即時予測に関する研究
THK14	東北大学	太田雄策	海陸測地データを活用したプレート境界面すべり即時把握能力の向上とそれにもとづく津波即時推定手法の高度化
HRS01	弘前大学理工学研究科	前田拓人	データ同化に基づく津波現況把握と即時予測の高度化
DPRI13	京都大学防災研究所	藤田正治	噴火後の土石流および泥流の発生に関する観測と予測手法の開発
ERI25	東京大学地震研究所	前野深	堆積物に基づく噴火物理化学パラメータ推定手法の高度化と事象分岐判断への活用

(3) 地震・火山噴火の災害誘因予測を災害情報につなげる研究

IRIDES06	東北大学災害科学国際研究所	福島 洋	地震の事前情報を起点とするハザード事象系統樹の開発
III01	東京大学情報学環	関谷直也	ニーズ・アセスメントに基づく地震・火山災害に関する発生確率、被害想定、災害情報のコミュニケーション戦略の開発
HKD07	北海道大学	橋本武志	火山活動即時解析表示システムの開発

4. 地震・火山噴火に対する防災リテラシー向上のための研究

(1) 地震・火山噴火の災害事例による災害発生機構の解明

NGY06	名古屋大学	室井研二	被害の地域的な発現過程とコミュニティの社会・空間構造に着目した地震・津波災害発生機構に関する文理融合的研究
UTH02	東京大学史料編纂所	杉森玲子	近代以前の地震・火山災害に関する多角的な研究

(2) 地震・火山噴火災害に関する社会の共通理解醸成のための研究

DPRI15	京都大学防災研究所	矢守 克也	災害リテラシーの育成のためのオープンサイエンス手法の検討
HKD01	北海道大学	橋本雄一	地理空間情報の総合的活用による災害への社会的脆弱性克服に関する人間科学的研究

課題番号	代表機関名	課題代表者	研究課題名
HYG02	兵庫県立大学	澤田雅浩	地震観測研究の成果を活用した土地利用に係る事例収集に基づく枠組みの提案
NGT02	新潟大学	田村圭子	地震・火山噴火災害における被害軽減のために利活用可能な要素・知識体系の整理・検証
KUS04	京都大学理学研究科	大倉敬宏	阿蘇で学ぶ地震・火山災害への備え
HYG01	兵庫県立大学	阪本真由美	地震・火山観測データを活用した減災・復興モデルの構築とリスクコミュニケーションに資する事例収集
DPRI14	京都大学防災研究所	中道治久	桜島火山における地域との連携による火山災害に関する社会の共通理解醸成のための研究
IRIDES05	東北大学災害科学国際研究所	杉浦元亮	災害に関わる個人の心理・行動特性とその評価・活用・調整に関わる研究
TYM01	富山大学	井ノ口宗成	地震学・火山学の知見に基づくコンパクトシティをデザインする情報科学からの被災生活シミュレーション
NGY07	名古屋大学	山岡耕春	御嶽山地域の防災力向上の総合的推進に関する研究
IRIDES01	東北大学災害科学国際研究所	蝦名裕一	歴史地形の復元・可視化手法の確立と災害発生要因の分析

5. 研究を推進するための体制の整備

(2) 分野横断で取り組む総合的研究を推進する体制

HKD04	北海道大学	高橋浩晃	千島海溝沿いの巨大地震津波災害軽減に向けた総合研究
-------	-------	------	---------------------------

(3) 研究基盤の開発・整備

ERI20	東京大学地震研究所	加納 靖之	観測研究データへの永続的識別子付与
ERI24	東京大学地震研究所	鶴岡弘	データ流通網の高度化
THK15	東北大学	内田直希	地震・火山データの無線伝送技術の開発
NGY08	名古屋大学	山中佳子	小電力・小型・携帯テレメータ地震観測装置の改良開発
ERI16	東京大学地震研究所	篠原雅尚	海底ケーブルを用いる地震・地殻変動・津波リアルタイム観測技術開発
ERI02	東京大学地震研究所	塩原肇	海底での地震・地殻変動観測に向けた機動的観測技術の高度化
KOC02	高知大学	大久保慎人	地震動観測点観測環境の時間変化把握に向けた、解析手法の検討・開発
ERI15	東京大学地震研究所	田中宏幸	高精細ミュオグラフィ画像自動診断による火山活動状況の推移との相関評価
ERI10	東京大学地震研究所	新谷昌人	光技術を用いた地下深部・火山近傍における地震・地殻変動計測技術の確立
HKD05	北海道大学	高橋浩晃	地殻変動等多項目データの全国流通一元化公開解析システムの高度化
KOC01	高知大学	大久保慎人	地震波形データ流通のための、新WIN伝送プロトコルの検討・開発
ERI23	東京大学地震研究所	鶴岡弘	マルチプラットフォーム次世代WINシステムの開発
ERI27	東京大学地震研究所	鶴岡弘	研究成果共有データベースの構築